

1 単元名 国際問題と地球市民
「地球市民に求められているものは何か」(全10時間)

2 単元のねらい
地球全体の利益や繁栄を考えるには、地球市民として、グローバル社会を意識し、資源・エネルギー、環境、人口・食料、平和などの地球的課題解決のために、身近なところから取り組むことが大切であることがわかる。

3 単元で培いたい学び方
資源・エネルギー、環境、人口・食料、平和などの地球的課題についての自分の思いを適切に表現する中で、国民的自覚や自国を愛することを国際的な視野に立って深める学び方。

4 内容のまとめりごとの評価規準 公民的分野の内容(3)ウ 「世界平和と人類の福祉の増大」

ア 社会的事象への関心 ・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能	エ 社会的事象についての知識・理解
国際社会の諸問題に対する関心を高め、課題を意欲的に追究し、世界平和を確立するための熱意と協力の態度が育つとともに、これからよりよい社会を築くために解決すべき諸課題を考え続けようとする態度が育っている。	国際社会の諸問題から課題を見だし、世界平和の実現と人類の福祉増大について、多面的・多角的に考察し、これからのよりよい社会の在り方について、様々な観点や立場から公正に判断している。	国際社会の諸問題に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、課題を追究し考察した過程や結果を図表化した報告書にまとめたり、発表や討論などを行ったりしている。	世界平和の実現と人類の福祉の増大にかかわって、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力の大切さについて認識し、日本国憲法の平和主義について理解を深めるとともに、現在および将来の人類がよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について理解し、その知識を身に付けている。

5 単元の評価規準

	ア 社会的事象への関心 ・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	地球環境と資源・エネルギー問題などにかかわる課題を設け意欲的に追究している。	人類の将来にわたる発展と自然との調和という観点から、地球環境の保全と資源・エネルギーの開発・利用を進めていくことについて多面的・多角的に考察している。	収集した資料の中から、地球環境、資源・エネルギー問題などにかかわる課題を追究するために役立つ情報を適切に選択し活用している。また、追究した過程や結果を図表化した報告書にまとめたり、発表や討論などを行ったりしている。	国家の主権が相互に尊重されるべきこと、国家間の相互の協力や各国民の相互理解と協力が人類の福祉の増大にとって大切なこと、環境問題が地球規模であり、国際的な課題となっていること、資源循環型社会が求められていること、地球環境問題解決のためには、国政、地方自治だけでなく、国際協力、国際協力が大切であることを理解し、それらの知識を身に付けている。
学習活動における具体的評価規準	地球規模で起こっている問題について把握し、個人テーマを作成するとともに、調査見通しをたてることができている。「地球市民」という考え方で、地球的課題を改善していくために、身近なことから具体的に考え実践しているという意欲をもつことができている。	21世紀の資源・エネルギー問題について考え、自分たちのできることにしている。地球環境問題に対して、日常生活のなかでどのように取り組んでいけばよいかについて、考えを述べることができている。アジアの森林破壊について考え、自分たちのできることにしている。人口・食料問題に対して、日常生活のなかでどのように取り組んでいけばよいかについて、考えを述べることができている。	設定した追究テーマについて文献資料や統計資料、写真資料や図書資料を収集し、追究することができる。設定した追究テーマについての調査活動の成果を仲間に発表するために、主張したいことを強調したり、図や表などの掲示資料を作成したりすることができる。聞き手に分かりやすく資料を提示したり、反応を確かめたり問い返しなどができている。	先進工業国と発展途上国のエネルギー消費量の不均衡の様子と、地球温暖化防止のために先進国の果たす責任の重さが理解できている。地球環境問題の全体像と相互に関係している様子や、その解決のためにどんな努力が行われているかを理解できている。21世紀の人口・食料の問題と南北問題を関連付けて理解することができる。

時	ねらい	学習活動	評価規準	評価方法	資料および指導・援助
1 地球市民をめざして	<p>一国では解決できない地球的問題の存在と、「地球市民」という考え方をもとに、「地球市民」として自分たちも求められていることに気付き、地球規模で起こっている問題を調べるテーマを作成し、その追究の見通しをもつことができる。</p>	<p>1 資料を読み、感想を交流する。 ・「外国との関係をぬきにしては考えられない」とあるけれど、その通りだと思う。自分の国の発展だけを考えていたら、大変なことになる。 ・資源・エネルギー、環境、人口・食料・平和という地球的問題は、一つの国で解決できないことばかりだ。 ・「地球市民」として、自分たちには何ができるのか、そして何が求められているのだろうか、追究していきたい。</p> <p>《単元を貫く課題》 地球市民に求められるものは何か</p> <p>2 追究テーマ（地球的問題）を個人で設定する。 資源・エネルギー問題 地球環境問題 アジアの森林と日本 人口・食料問題</p> <p>3 追究の見通しを立てる ・問題の理解 原因 改善方法 自分たちにできること ・調査方法の予測 ・発表方法の見通し</p>	<p>《ア - 》 地球規模で起こっている問題について把握し、個人テーマを作成するとともに、調査見通しを立てることができる。</p>	<p>ワークシートへの記述内容 なぜそのテーマを選んだのかという項目に書かれた内容から、「地球市民」という概念から、何とか自分でも探りたいという意識があるかどうかを分析する。</p>	<p>「地球市民をめざして」 (教科書)</p> <p>「地球的問題について」 (教科書)</p> <p>・テーマと調べる見通しが持てるようワークシートを配布する。</p>
		<p>自分も一人の「地球市民」として、地球的問題について、自分は「 」について調べていきたい。そして、自分にできることをつかみたい。</p>			
2 3 4 テ・マ別調査活動	<p>設定した追究テーマについて、文献資料や統計資料、写真資料や図書資料を収集し、追究することができる。</p>	<p>1 単元の課題を確認し、追究活動の見通しを確認する。 地球市民に求められるものは何か</p> <p>2 資料を収集する。 資料のタイプ 資料収集方法 ・文献資料 ・教科書から ・統計資料 ・地図帳から ・写真資料 ・資料集から ・図書資料 ・インターネットから ・VTR資料 ・新聞・雑誌から</p> <p>3 自分の主張したいことを、明らかにし、発表に使う資料を準備する。</p> <p>4 資料収集の仕方について、評価する。</p>	<p>《ウ - 》 設定した追究テーマについて文献資料や統計資料、写真資料や図書資料を収集し、追究することができる。</p>	<p>調査のワークシート・問題の理解原因改善方法自分たちに行うことができるという追究方法を理解して順序だてて調査できているかワークシートを見て分析する。</p>	<p>・発生の原因や問題となることがらについては、教科書 p130 ~ 131 を参考にさせる。問題解決への取り組みや、自分たちに行うことができることについては、p132 ~ 133 を参考にさせる。</p>
		<p>地球的問題の内容について分かってきた。解決するのはかなり難しそう。次は、みんなに分かるように、工夫した発表がしたい。</p>			
5 6 調査活動発表会の準備	<p>設定した追究テーマについての調査活動で分かったことを発表する準備を行う事を通して、聞き手を考えた図や表の工夫、その示し方、語り方を工夫することができる。</p>	<p>1 発表の準備の手順を確認し、活動を始める 地球市民に求められるものは何か</p> <p>2 個人で追究活動をまとめる</p> <p>3 発表会の準備を行う 同じテーマで追究したグループになり、自分が最も主張したいことをグループで交流する。 発表の順番、役割を決定する。 司会者 掲示の補助 必要な資料を準備する。 発表の練習をする。</p> <p>【発表の仕方】 ・全員に聞こえる声。語尾まではっきりと、資料を見せながら。 ・相手の反応を確かめながら。 ・途中で仲間を問う。</p>	<p>《ウ - 》 設定した追究テーマについての調査活動の結果を仲間に発表するために、主張したいことを強調したり、図や表などの掲示資料を作成したりすることができる。</p>	<p>発表に使う資料・発表に使う資料を見て、主張したいことを強調するための工夫が適切に行われているかを見て分析する。</p>	<p>・主張したいことを確認し、そのために、どの資料を使えばよいのかを相談する。</p> <p>よい話し方の観点を確認し、アドバイスする。</p>
		<p>グループでの話し合いで、新たな資料が発見できた。次の時間は、発表だから話す練習をしておこう。</p>			

時	ねらい	学習活動	評価規準	評価方法	資料および指導・援助
7	資源・エネルギー問題についての調査活動の成果を仲間に発表することを通して、先進工業国と発展途上国のエネルギー消費量の不均衡の様子と、地球温暖化防止のために先進工業国の果たすべき責任の重さを理解するとともに、自分たちにどんなことができるのかを考えることができる。	<p>1 単元を貫く課題や、発表の仕方、話を聞く姿勢を確認し、資源・エネルギー問題について調べた生徒が発表を始める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">21世紀のエネルギーをどうしたらよいのだろう</div> <p>2 資源・エネルギー問題の現状 原因 改善方法 自分たちにできること</p> <p>3 発表を聞き、自分たちにできることについて交流する。</p> <p>4 本時のまとめの感想を書く。</p>	《エ - 》 先進工業国と発展途上国のエネルギー消費量の不均衡の様子と、地球温暖化防止のために先進国の果たす責任の重さが理解できている。 《イ - 》 21世紀の資源・エネルギー問題について考え、自分たちのできることについての意見をのべることができている。	発表内容 や資料、日常生活を根拠に自分の考えを書いたものを分析する。	<p>・グループの発表で、聞き手を意識した提示の仕方、話し方で良い点をその場で評価し価値付ける。</p> <p>・日常生活を想起しながら、節約できることを具体的にあげられたことを評価する。</p>
先進工業国がエネルギーを大量に消費していることが分かった。消費するだけでなく地球温暖化を防ぐために、自国のことだけを考えてはだめなんだ。自分も省エネに心がけていこう。					
8	地球環境問題の全体像と相互に関係している様子や、その解決のためにどんな努力が行われているかを理解し、自分たちにどんなことができるのかを考えることができる。	<p>1 単元を貫く課題や、発表の仕方、話を聞く姿勢を確認し、地球環境問題について調べた生徒が発表を始める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">環境破壊をふせぐためにはどうしたらよいのだろう</div> <p>2 地球環境問題の現状 原因 改善方法 自分たちにできること</p> <p>3 発表を聞き、自分たちにできることについて交流する。</p> <p>4 本時のまとめの感想を書く。</p>	《エ - 》 地球環境問題の全体像と相互に関係している様子や、その解決のためにどんな努力が行われているかを理解できている。 《イ - 》 地球環境問題に対して、日常生活のなかでどのように取り組んでいけばよいかについて、考えを述べる事ができている。	発表内容 や資料、日常生活を根拠に自分の考えを書いたものを分析する。	<p>・グループの発表で、聞き手を意識した提示の仕方、話し方で良い点をその場で評価し価値付ける。</p> <p>環境チェックリスト ・環境チェックリストを見て、自分の生活を想起させる。</p>
人類は、便利さを求めて住みやすい世界を築こうとこれまで努力してきたけれど、それが結局自然を破壊し、私たちの生活自体をおびやかそうとしている。そのことに気づき、具体的な活動をしていかなければならないんだなあ。					

時	ねらい	学習活動	評価規準	評価方法	資料および指導・援助
9	アジアの森林と日本についての調査活動の成果を仲間に発表することを通して、私たちの食生活が環境破壊の原因となっていることを理解するとともに、自分たちにどんなことができるのかを考えることができる。	<p>1 単元を貫く課題や、発表の仕方、話を聞く姿勢を確認し、アジアの森林と日本について調べた生徒が発表を始める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>アジアの森林を守るためにはどうしたらよいのだろう</p> </div> <p>2 アジアの森林の現状 原因 改善方法 自分たちにできること</p> <p>3 発表を聞き、自分たちにできることについて交流する。</p> <p>4 本時のまとめの感想を書く。</p>	《イ- 》 アジアの森林破壊について考え、自分たちのできることについての意見をのべることができる。	発表内容や資料、日常生活を根拠に自分の考えを書いたものを分析する。	<ul style="list-style-type: none"> グループの発表で、聞き手を意識した提示の仕方、話し方で良い点をその場で評価し価値付ける。 「バナナとエビと私たち」 自分たちの日常生活とアジアの森林との関係を「バナナとエビと私たち」の資料から読みとらせ、考えさせる。
自分たちの食生活が、アジアの森林に影響を与えているなんて、想像もつかなかった。自分たちの生活が、他の地域の環境までも破壊する原因となっているのだから、もう一度自分の生活を振り返って、様々な関係に目を向けていきたい。					
10	21世紀の人口増加とそれにもなう食糧問題の様子を理解するとともに、南北問題の原因について考察し、その解決のために、自分たちにどんなことができるのかを考えることができる。	<p>1 単元を貫く課題や、発表の仕方、話を聞く姿勢を確認し、人口・食料問題について調べた生徒が発表を始める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>人口増加と食料問題を解決するためにはどうしたらいいのだろう。</p> </div> <p>2 人口・食料問題の現状 原因 改善方法 自分たちにできること</p> <p>3 発表を聞き、自分たちにできることについて交流する。</p> <p>4 まとめ感想を書く。</p>	《エ- 》 21世紀の人口・食料の問題と南北問題を関連付けて理解することができる。 《イ- 》 人口・食料問題に対して、日常生活のなかでどのように取り組んでいけばよいかについて、考えを述べることができる。	発表内容や資料、日常生活を根拠に自分の考えを書いたものを分析する。	<ul style="list-style-type: none"> グループの発表で、聞き手を意識した提示の仕方、話し方で良い点をその場で評価し価値付ける。 飽食から放食へ 飽食から放食の資料を読みとらせ、自分たちの生活を振り返らせる。
このまま人口が増加し続けると、食料生産が追いつかない状況が生まれてくる。特に南の発展途上国ではもっと深刻になることが分かった。しかし、このような状況になったには、北の先進工業国にも原因があるのは確かだ。また、飢餓で苦しんでいる人がいるのに、私たちは平気で食べ物を捨てている。こんな状況に何とも思えない自分たちの生活を見直していきたい。					